

『自然教育園報告』投稿規定・執筆要領

2024/9/1

国立科学博物館附属自然教育園

投稿規定

■本誌に投稿できる論文は、自然教育園もしくは自然教育園を含む調査・研究の成果等に限りま

(1) 査読付き論文：掲載前に査読者の審査を受けるものとし、掲載の可否については国立科学博物館の研究報告等編集委員会が決定します。次号への掲載を希望する場合の投稿締め切りは12月15日となります。締め切り日以降の投稿は次々号の掲載とさせていただきます。

(2) 査読なし論文・報告等：掲載前に査読者による審査は行いませんが、入稿前や校正時に園事務より内容についての確認や修正のご提案をさせていただくことがあります。次号への掲載を希望する場合の投稿締め切りは3月15日となります。

■言語は原則として日本語とします。執筆にあたっては、以下の執筆要領をご参照ください。

執筆要領

■原稿は1枚目から、(1)表紙→(2)本文→(3)表→(4)図の説明文→(5)図 の順に整えて下さい。図を本文の中に埋め込むなど、印刷体の体裁に整えることはしないでください（レイアウトはしない）。

原稿は電子ファイルでお送りください。電子ファイルの形式は、(5)図を除きMS-wordのdocあるいはdocxファイルとします。ただし、(3)表についてはExcelのxlsあるいはxlsxでも結構です。(5)図はpdfなどの一般的なファイル形式とします。(Espファイルは図をpdf、jpegに変換してください。)

原稿の書式は厳密に定めませんが、A4版、1ページ25～40行、文章は「だ・である」調とします。この執筆要領のように、句点は「。」読点は「，」を用います。

■(1)表紙

表紙には、和文タイトル、ランニングタイトル（ページ上部に印刷する簡略な和文タイトル）、和文著者氏名、英文タイトル、英文表記著者氏名、著者所属（和文・英文〔所属がない場合、原則自宅の都道府県・市レベルの名称まで〕）を、この順に書きます。続いて、著者（二人以上いる場合は代表者）の連絡先（住所・電話・ファクス、Emailアドレス）を書きます。もし、所属や連絡先の情報の中に印刷して欲しくないものがある場合はその旨、示してください（しかし、連絡先の記入を省かないでください）。

※概要とキーワード

査読付き論文を投稿される場合は英語概要(Abstract)を200語以内、英語キーワード(Keywords)を10語以内で表紙に記載してください。なお、著者の責任で英文校閲を受けていただきます。査読付き論文以外の投稿に関しては、概要とキーワードを掲載するかどうかを著者の判断にお任せします。

■(2)本文

「はじめに」「調査方法」「結果」「考察」（もしくは「結果および考察」）などと、論文に応じて適宜見出しを付けて書いてください。

動植物の和名は原則としてカタカナ書き、学名はイタリック（斜体字）にします。手書きの場合は下線を引きます。

本文中での文献の引用は以下のようにします（カンマやイタリックに注意）

遠藤（2023）は……と報じているが、……
 ……といわれている（Saitoh *et al.*, 1995; 佐藤・下山, 2006）。
 ……と考えられている（山田ほか, 2001; Hamao & Hagiwara, 2005）。

引用文献（本文に続く引用文献リスト）においては、本文中に引用したものだけを、かつ引用したものをすべてあげて下さい。配列は著者名（姓）のアルファベット順です。以下の例に倣ってください（カンマ、ピリオド、イタリックなどに注意）。

- Brommer J. E., Pietiäinen H. & Kolunen H. 1998. The effect of age at first breeding on Ural owl life time reproductive success and fitness under cyclic food conditions. *Journal of Animal Ecology*, 67:359–369.
- Cody, M. L. 1971. Ecological aspects of reproduction. Farmer, D. S. & King, J. R. (eds.) *Avian Biology*, Vol. 1. 586pp. 461–512. Academic Press, New York.
- 濱尾章二. 1997. 一夫多妻の鳥, ウグイス. 63pp. 文一総合出版, 東京.
- Mitsugi, M., Hisamoto, Y. & Suzuki, H. 2017. An invasive freshwater shrimp of the genus *Neocaridina* Kubo, 1938 (Decapoda: Caridea: Atyidae) collected from Boso Peninsula, Tateyama City, Chiba Prefecture, eastern Japan. *Crustacean Research*, 46:83–94.
- 日本鳥学会. 2000. 日本鳥類目録, 改訂第 6 版. 345pp. 日本鳥学会, 帯広.
- 下田彰子・香川 聡・堀江一郎. 2023. 自然教育園の巨樹の樹齢推定. *自然教育園報告*, (55):21–25.
- *2行以上に渡る場合は, 2行目以降を 1 文字下げる (MS-word ぶら下がりインデント機能を推奨)。

■(3)表

MS-word で作成した場合、本文（引用文献）の後で改ページして、新たなページに表を続けます。1 ページに一つの表を書いてください（それぞれの表を一つのファイルにしても結構です）。Excel で作成した場合は一つの表を一つのファイルにしてください。

いずれの場合も（手書きの場合を含め）、表の上部に表の説明文（表のタイトル＋必要な場合説明の文章）を書きます。

■(4)図の説明文

再び、改ページして、新たなページにすべての図の説明文（図のタイトルと必要な場合説明の文章）を書きます。図が多い場合、複数のページに渡っても結構です。

■(5)図

図はそのまま印刷に使用できるように作成してください。編集者や印刷所では、図を改変したり活字を埋め込んだりする作業は行いません。

図は1点ずつ、一つのファイルにしてください。手書きの場合、A4用紙1枚に1点ずつ作成してください。紙の原稿がばらばらになった時のために、1枚ごとに「図1（濱尾）」などと図番号と著者名を記してください。

本文に図を挿入するおおよその位置を示すため、本文原稿中余白（右）に「図2」などと朱書してください。

■原稿の送り先

国立科学博物館 附属自然教育園 総務担当

E-mail megurojim@kahaku.go.jp

原稿（図表含む）は、添付ファイルとして電子メールでお送りください。

お問い合わせは、メールあるいは電話でお願い致します。

電話 03-3441-7176

■原稿送付後について

○審査

査読付き論文の場合、編集委員を介して投稿後に査読者による審査を行います。

○校正

初校・再校の校正は著者が行います。著者校正は体裁上の誤りについてだけ行い、内容の変更は認められません。初校・再校校正は原則メール添付pdfによって行います。校正の時期に連絡が付かない期間が生じる場合は、早めにご連絡ください。

○別刷り

著者には論文のPDF電子ファイルを差し上げます。

○著作権

自然教育園報告に掲載された論文・報告等の著作権は、国立科学博物館に帰属します。掲載が認められた場合には、その論文・報告等の著作権を国立科学博物館に委譲することの同意書をご提出ください。掲載論文・報告等はCiNii（国立情報学研究所論文情報ナビゲータ）等で公開する場合があります。著者自身による利用は自由としますので、Webページでの公開や転載は行うことができます（ただし『自然教育園報告』からの転載であること〔書誌情報〕を示してください）。また、著者所属機関のリポジトリでの利用も可とします。第三者から転載等の問い合わせがあった場合には、国立科学博物館附属自然教育園に尋ねるようお願いください。

○発行

第56号以降、冊子は基本廃止とし、電子データのための公開・提供となります。